

伊藤病院だより  
SUMMER

# Voice

2011年6月1日発行 第34号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



六本木ヒルズと毛利庭園

## 東日本大震災について

このたびの「東日本大震災」におきましては、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災は、マグニチュード9.0という例を見ない規模の巨大地震に、今後の国情も決して楽観できない状況ですが、国民が一つの気持ちになることが大切です。そこで当院も社会保障を担う組織として、復興に向かって全力を尽くす決意でございます。

伊藤病院では、震災直後より、甲状腺疾患専門病院として可能な限りの対応、情報発信を行ってまいりました。下記に震災以後の取り組みを紹介いたします。

2011年4月

伊藤病院 院長 伊藤公一

### ◆伊藤病院の対応について（広報誌委員会）

渋谷区は震度5弱の揺れを受けましたが、当院では、幸い患者様・職員の人的被害は一切なく、建物についてもエレベータが緊急停止したのみで、ライフラインへの被害はございませんでした。

電子カルテへの影響もなく、当日は、そのまま外来診療を継続いたしました。病棟では手術中でしたが、現場職員が、無影灯や医療機器類などが患者様に落下しないよう迅速な対応を施しつつ手術を続行、手術後の患者様は、担架で病室までお連れしました。

ただし、都内の交通網は完全に麻痺し、患者様やお見舞いの方々のご帰宅できない状況となりました。そこで、病院の1・2Fを緊急避難所として終日開放するとともに、備蓄されている食料などをお配りし、召し上がっていただきました。

後に原発事故による放射性物質の漏出や、甲状腺ホルモン薬・チラーゼンスの製造ラインの被災が大きな問題となりました。そこで正確な情報収集に努め、当院なりのメッセージ内容を、日本語・英語・中国語・韓国語でホームページから発信いたしました。

そして災害支援ナースの資格を有する看護師2名と、僻地医療の経験を持つ医師1名を被災地に派遣し、実際の災害医療支援を図りました。

人口が密集する都心部の医療機関として、今回の対策経験も活かし、あらためて日頃の備えに心がけていきたいと考えています。

## 病院からの おしらせ

### 日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会について

日本内分泌外科学会は、平成元年の発足以来、我が国における内分泌臓器（甲状腺・副甲状腺・副腎）の外科診療発展において、常に中心的な役割を果たしてきた学術団体です。

日本甲状腺外科学会は昭和43年に発足した甲状腺外科検討会が前身であり、研究会から学会へと段階的に、事業が発展してまいりました。その名の通り、両学会は甲状腺疾患の外科診療を専攻する医師にとって不可欠なコミュニティです。

当然、専門病院である伊藤病院も、発足年より毎年の学術集會に積極参加しております。現在は伊藤公一院長が両学会の理事を務め、杉野公則副院長を始めとした外科スタッフが各種委員会の要職に就き、学会の運営に携わっております。

このように極めて密な関係にある両学会の理事長・高見博先生（帝京大学名誉・客員教授）が、今春より、顧問として、当院の臨床・学術活動をご指導下さることとなりました。そして、高見先生の着任に伴い、日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会の両事務局が隣地ビル内に移転してまいりました。これらを機に、あらためて伊藤病院が、両学会の発展に直接寄与出来ればと存じます。



#### 高見博先生プロフィール

昭和45年3月 慶應義塾大学医学部 卒業  
昭和53年米国 テキサス大学M. D. アンダーソン病院  
外科客員助教授  
平成3年 帝京大学医学部外科 教授  
平成19年4月 帝京大学医学部外科 主任教授  
日本甲状腺学会賞(三宅賞)受賞(平成17年)  
日本内分泌学会Best Endocrine Surgeon of the Year  
賞受賞(平成18年)

日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会理事長  
日本外科学会理事  
日本甲状腺学会理事  
日本内分泌学会功労評議員  
国際内分泌外科学会前理事  
アメリカ外科学会フェロー

### 吉原医師が研究奨励賞を受賞しました

吉原内科医師が第27回甲状腺病態生理研究会におきまして、「甲状腺疾患を認めず甲状腺自己抗体陰性の成人母集団における年代別TSH参考値の検討」というテーマで発表を行い、「研究奨励賞」を受賞いたしました。

「患者様ひとりひとりにより良い医療が提供できるよう、今後も努力してまいります」（吉原）



## 伊藤公一院長が講演を行いました

◆2月16日に開催された「The Thyroid-Heart conference ～甲状腺疾患を考える～」にて、伊藤公一院長が講演を行いました。

研究会は財団法人 心臓血管研究所が核となり、東京都内の循環器専門医が集まる会合で、心臓疾患と甲状腺疾患の関係から、伊藤病院における治療方針や治療成績までの幅広い内容が討議されました。

循環器疾患を専門とする先生方にとって、この講演が甲状腺疾患の知識を深めて頂く一助になればと願っております。



◆4月9日に京都市で開催された「伏見内分泌代謝ネットワーク 第15回連携の会」におきまして、伊藤公一院長が特別講演を行いました。伏見医師会が主催する本会は、日本医師会生涯教育の認定講座にもなっています。

当日は地域の先生方の発表に続き、「専門病院における甲状腺疾患診療の取り組み」をテーマに、甲状腺疾患の診療内容のみならず、専門施設として伊藤病院ならびに大須診療所が他の医療機関とどのように医療連携を行っているかなどもご紹介いたしました。



## 第42回 伊藤病院研究会

2月19日に、42回目となる伊藤病院研究会を開催いたしました。

2演題の発表があり、「バセドウ病に合併した心房細動の治療」では、心房細動とバセドウ病のために心臓に大きな負担のかかっている患者様に対して、どのように治療を進めていくべきかについて國井医師が発表しました。渋谷医師によ



## 第11回臨床検査業務委員会報告会

伊藤病院 臨床検査室室長 宮崎直子

3月9日に、伊藤公一院長が11年間委員長を務めている全国病院経営管理学会の臨床検査業務委員会が「明日からの臨床検査室運営を考える」をテーマに第11回報告会を開催し、同委員会の副幹事を務める当院臨床検査室の宮崎も事例報告として「診察前検査を中心とした臨床検査室の運営」について発表しました。



臨床検査業務委員会は、2000年に伊藤公一院長を委員長として全国病院経営管理学会の一委員会として発足し、毎年「臨床検査室のマネジメント向上」を目的として、臨床検査室の運営に関わるさまざまなテーマで学会会員施設を中心にアンケート調査を実施し、その調査結果や分析結果と共に、その年のテーマにそった事例報告を交え、報告会を開催しています。



今回の第11回報告会では、臨床検査技師であり参議院議員の赤石清美氏より「国政からみた医療行政」というテーマで特別講演もあり、84名の参加者がアンケート分析結果や事例報告内容についてディスカッションを通し、臨床検査室の運営について検討しました。

る「伊藤病院における甲状腺癌に対するアイソトープ治療の現状」では、当院における放射線治療の実績とともに、これまで主として入院が必要だったがんの転移予防のための治療を外来で行うための取組みを発表しました。



國井医師



渋谷医師

両演題とも当院の長年にわたる診療実績と日々の研究成果を活かした内容であり、当院職員のみならず、院外からも医師を含む150名が来場され、活発な質疑が行われました。



## 渡邊医師の論文がイギリスの医学誌に掲載されました

イギリスの血液学領域の一流医学誌である「British Journal of Haematology」153号に渡邊奈津子医師による甲状腺原発悪性リンパ腫の研究結果論文が掲載されました。

以下に論文の概略をご紹介します。

### 甲状腺原発悪性リンパ腫とは

渡邊医師がとりあげたのは甲状腺から発生する（甲状腺原発）悪性リンパ腫です。この疾患は非常に稀であり、診断や治療法の進歩した現在でも、全体としての本当の予後がはっきりとはありませんでした。伊藤病院は甲状腺疾患に特化した専門病院ですので、非常に稀な疾患でありながら年間10から20人前後の患者様がいらっしゃいます。そこで、専門施設の使命として甲状腺悪性リンパ腫はどのような経過をたどっているのかまとめてみることにしました。結果として、世界最大規模の171症例が集まりました（稀な疾患ですので単施設としてはダントツの世界一になります）。そしてカルテや手術のサンプルを細かく見直し長年の経過をあらためて集計してみると、適切な治療を行うことにより甲状腺原発悪性リンパ腫の治療成績はとてつもないということが分かりました。

### 橋本病との関係

甲状腺悪性リンパ腫は甲状腺の中でリンパ球が増えてかたまり（リンパ腫）となる病気です。そしてその原因として甲状腺の慢性的炎症である慢性甲状腺炎、別名橋本病が関係していると考えられています。橋本病のために慢性的に甲状腺に炎症があると、甲状腺の中のリンパ球が慢性的に刺激をうけてリンパ球が増殖して甲状腺の腫れがどんどんおおきくなっていくと考えられています。しかし沢山の橋本病の患者様のなかでリンパ腫がでてくるのは本当にごく一部で、その割合は橋本病の患者様1万人のうち1年間で16人と非常に少数であることも今回の研究で確認されました。このように甲状腺原発悪性リンパ腫はすべての橋本病患者様に生じるものではありません。通常の診療の中で必要な方には適宜、リンパ腫の可能性についても検査を行っておりますのでご安心ください。

現在はあらたな治療薬の追加や、早期診断・早期治療によって甲状腺悪性リンパ腫の治療成績のさらなる改善が期待されています。今後、患者様への負担がより少なくより有効な治療をめざし、これらの研究成果を役立ててまいります。

## メディカルツーリズムへの取り組み

Voiceでも、度々ご紹介してまいりましたが、「メディカルツーリズム（医療観光）」がアジア諸国を中心に成長しています。我が国においても外国人患者の診療が、観光資源の1つとして国策に取り入れられております。

そこで伊藤公一院長が、国土交通省観光庁委員として「医療観光に関するプロモーション事業」に参加し、2月・3月に上海・北京・ロサンゼルス・台北の3カ国4都市で講演を行いました。

講演には開催地の医療関係者・旅行社・自治体が招かれ、院長は伊藤病院で行う甲状腺疾患診療を紹介しました。その内容は現地マスコミのみならず、日本の報道機関にも注目を集め、複数のチャンネルでテレビ報道されました。



医療観光の発足以前より、当院では医療の国際化に心がけておりました。そして、この度、急増する外国人患者様のために、中国語・韓国語を話せる医療通訳職を採用いたしました。

あらゆる国籍の患者様に専門診療を提供したいという思いで、これからも職員一同研鑽を積んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



### ◆鄭君からのごあいさつ

初めまして。3月1日に入社しました「鄭君」と申します。海外から伊藤病院の受診を希望される方や、日本に在住されている外国人の方で日本語のコミュニケーションに不安がある方の医療通訳に努める所存でございます。そのような患者様の立場となつてがんばりますので、どうぞお気軽に私にお声をかけてください。よろしくお願ひ申し上げます。



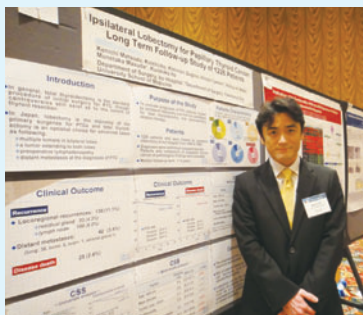
#### ●プロフィール

中国吉林省出身、1980年生まれ。  
2000年4月に来日し、愛知県の日本語学校入学。2002年日本語能力試験1級取得。2006年愛知大学国際コミュニケーション学部比較文化学科卒業。名古屋の企業に勤務の後、2011年3月に伊藤病院入社。

## アメリカ内分泌外科学会総会

伊藤病院 外科 松津賢一

4月10～12日にアメリカのヒューストンで開催された、第32回アメリカ内分泌外科学会(AAES)総会に出席して参りましたので、御報告させていただきます。本学会は、全米を中心とする内分泌外科医が各施設のデータを持ち寄って集い、最良の治療を求めて議論するという学会ですが、当院からは約2000人の乳頭癌手術症例の長期予後データを報告致しました。



欧米では一般的に乳頭癌に対する手術としては、甲状腺をすべて切除する甲状腺全摘術を行っています。これに対して当院では腫瘍の場所やサイズ、数などを考慮して各症例ごとに片側だけの切除である葉切除術か全摘術かを選択しており、今回の2000例のうち約6割が葉切除術による治療群でした。当然ながら、術後の甲状腺機能や合併症発生率に関しては葉切除術が有利ですが、長期生存率においても、全摘術を原則とする米国各施設と同等の結果（術後25年生存率94%）であり、当院の治療方針の妥当性が確認できました。一方で片道10時間以上かけて渡米したにも関わらず、乳頭癌の治療という点では、本学会で新たな発見を見つけることができなかつたことは残念でしたが、やはり治療の進歩に近道はなく、一人ひとりの患者様を丁寧に診療することこそが大切であるという当たり前のことが分かっただけでも大きな収穫と考えています。

## 圧巻！渋谷表参道Women's Runに参加！

伊藤病院 外科 大桑恵子

最近ではランニングファッションも多様化し、「美ジョガー」という言葉も定着するほどライフスタイルとしてランニングを楽しむ女性が増えてきました。そんな中、渋谷区で約30年ぶりという女性だけのランニング大会が、3月6日渋谷区表参道で開催されました。コースは、代々木公園をスタートし、表参道、明治神宮内、参宮橋を通過。NHK周辺を2周回し、代々木公園でフィニッシュの10kmです。当日は晴天に恵まれ絶好のランニング日和（最高気温14℃、最低気温3℃、湿度28%、風速2m/s）のなか、伊藤病院職員の子もこぞって参加しました。午前8時30分スタート。ブティックが立ち並ぶ表参道を、華やかな4000人の女性ランナーが走る情景は圧巻そのものです。伊藤病院は渋谷区にありますが港区との境界に位置するために、表参道折り返し地点が病院前となる絶好のロケーションでした。病院前の沿道には院長先生をはじめとして職員の方々が待ち受け、みなさんの応援をうけて走りました。普段はランニング禁止の「明治神宮」内では、木漏れ日が差し込む中を走ることでなんだか心が洗われるような感じさえしました。



実はこのコースはアップダウンの多いちょっとタフなコースでしたが、参加者全員完走という素晴らしい成績と、何より皆充実感と達成感に満ちた笑顔で終えられたことが最高の喜びだと思いました。アフターレースの催し物も充実しており、女性ランナー対象ならではの「スイーツ・フルーツサービス」や「化粧品サービス」など体と心を癒しながら大会は終了しました。

## 統計情報

### 「来院のきっかけ」について

初めて伊藤病院にご来院いただいたときに書いていただく問診用紙の中に、「当院のことを何で知りましたか？」というご質問があるのを覚えていらっしゃいますか？今回、過去6年間の「伊藤病院への来院動機（きっかけ）」を調査し、みなさんがどのようなきっかけで伊藤病院にご来院いただいたのかを下のグラフでご報告いたします。

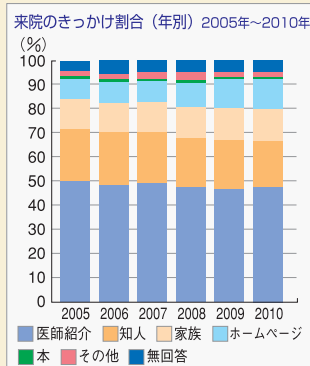
横軸は、電子カルテが導入された2005年を始めたとして過去6年間、縦軸は、各年の初診患者数を100%とし、どの項目がどれくらいの割合を占めているのかを表しています。来院動機の項目は、問診用紙に記載されている6項目です。

このグラフから、各年における割合に大きな差はなく、やはり最も多

い理由は「医師からの紹介」です。

この結果の中で興味深いのは、知人からの指摘の方が家族からの指摘より上回っているということです。毎日顔を合わせている家族より、たまに会う知人の方が、その変化に気づきやすいということでしょうか？

現在、伊藤病院に通院されている皆さんの周りに、ご自身と同じような症状で悩んでいる方がいらした時、また、くびが腫れているように見える方がいらした時、皆さんに自信を持って伊藤病院を勧めていただけるよう、日々精進してまいります。



## 亀田総合病院に国内留学しました

当院の放射線技師・臨床検査技師が、亀田総合病院に国内留学をしましたので、ご紹介します。

有名な亀田総合病院（千葉県鴨川市）は925床、31の診療科を設置する大病院で、房総地域の基幹病院として救急やがん・HIV治療などの高度医療に取り組んでいるほか、災害時の拠点病院としての役割も担っています。また、国際的な医療機関評価であるJCI（Joint Commission International）を国内で唯一取得した病院として広く名声が知られています。

### 臨床検査技師 植木輝

私は伊藤病院に新卒後に入職し、現在4年目になる臨床検査技師です。今回、総合的な修練を目的に亀田総合病院に国内留学する絶好の機会を得ましたので、ご紹介いたします。

臨床検査技師の業務は主として生理機能検査、採血業務、生化学検査、病理検査などがあります。伊藤病院では専門病院の検査技師として甲状腺疾患に関わるこれらの検査全般の習得・技術向上に取り組んでおりますが、31の診療科目をもつ亀田総合病院では業務内容も多岐にわたっています。例えば私が研修を行った生理機能検査だけでも約50種類の検査項目があり、検査技師はこの多くの検査業務を身につけるために取り組んでいましたが、ISO9001を取得して11年の同院では大変優れたマニュアルがあり、勉強会などと合わせ多数の職員に効率的な技術向上が図られていました。

今回、最先端の医療に取り組んでいる総合病院の姿や、また普段自分たちが行っている業務も他の視点から見ることができ、非常に有意義な経験となりました。これらの学んだことを院内で共有し、患者様により良い医療をご提供するために役立てていきたいと考えています。

### 放射線検査技師 村本武司

私は、伊藤病院に新卒で入職した、8年目の放射線技師です。甲状腺疾患に関する放射線検査のことは熟知しており、放射線検査室では中堅的な存在として後輩の指導に当たっております。そして今回は、亀田総合病院で研修を受ける身となりました。専門病院の経験しかない私は、総合的な実務を行ってこなかったため、実務についていけるか正直不安でした。

多くの診療科である亀田総合病院には、さまざまな検査機器があります。それらの機器を43名の技師で担当しているのですが、驚くことに若手の技師は1日ごとのローテーションで違った機器を扱い、質の高い検査を行っておりました。中堅の私は、いったいどのような教育を行っているのか大変興味を持ちました。

そこには、平成12年に取得したISO9001が業務改善に役立ち、有機的に機能していました。実際にローテーションの少ない中堅の教育責任者が、業務手順をISOマニュアルを使って教育しています。また責任者は部下1人1人の習得レベルが確認できるリストを作成していました。より優れた手順が決定されると、当然ですがマニュアルに反映

## 大須診療所移転リニューアルのお知らせ

大須診療所 事務長 高田博史

伊藤病院関連施設として名古屋に開院した大須診療所も今年で7年目を迎えます。これもひとえに患者様からのご信頼によるものと、改めて身が引き締まる思いです。他の医療機関の皆様にとっても、東海地区における甲状腺疾患専門施設として定着し、多数の患者様をご紹介頂くようになりまして。

この度、大須診療所は2011年7月19日（火）に現診療所より南東へ徒歩5分の場所に新築移転いたします。

CTやX線検査に加え、新診療所としてはアイソトープ治療・検査設備を新たに備えたものとなります。伊藤病院と同等の充実した検査・治療設備と、これまで導入してきた診察前迅速検査や、優先予約システムなどを組み合わせ、患者様一人一人のご要望に応じた治療方針を決定してまいります。

なお、移転に伴い、現診療所での診療は7月13日（水）が最後となり、7月14日（木）から18日（月）までは休診させていただきます。患者様にはご迷惑をおかけいたしますがリニューアルする診療所にぜひご期待ください。引き続き、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



建築中の建物外観

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

### 大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須3丁目30番地60号 大須301ビル4階  
電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://www.osu-shinryoujyo.jp/

され、部署全体に周知される仕組みになっていました。加えて、同院がJCIを取得したのちは、この仕組みが部署の壁を越えて組織横断的に運用されるようになったとのことでした。

伊藤病院はISO9001を取得してやっと1年が経過したところですが、今後より安全かつ効率的な仕組みを作っていくため、今回の研修を役立てていきたいと考えています。





福島第1原発事故で身体への影響が取り沙汰されている放射性ヨードですが、甲状腺疾患の検査・治療には欠かせないものです。当院では、1955年(昭和30年)より放射性ヨード検査・治療を行っております。現在のところ、放射性ヨード検査・治療によって身体に悪影響を及ぼしたという報告(妊娠中・授乳中は除外)はありません。正確な診断と適切な治療をする目的で、放射性ヨードは必要なものです。管理された量の放射線ヨードを使用していますのでご安心下さい。

## 当院で行う検査について 第8回 ラジオアイソトープ(RI)検査

伊藤病院 内科 國井葉

ラジオアイソトープ検査(RI検査)は注入、経口などの経路で体内に入った放射性物質の動きをカメラで撮って、コンピュータで処理し画像化する検査です。RI検査をおこなうことで血流や代謝機能などを評価する事が出来ます。

様々なRI検査の中で甲状腺の機能評価に使われるのは、放射線を出すヨード、すなわち放射性ヨードを用いた検査です。これは、甲状腺ホルモンがヨードを材料に作られている特性を利用した検査です。経口摂取した、放射性ヨードは甲状腺や甲状腺細胞のあるところに取り込まれ、甲状腺の機能や部位評価を可能にします。3月に起こった福島第1原発事故の際、耳にすることが多かったと思いますが、 $^{131}\text{I}$ (131ヨード)または $^{123}\text{I}$ (123ヨード)を検査に使用します。 $^{131}\text{I}$ は放射線の種類のうち $\beta$ 線(ベータ線)と $\gamma$ 線(ガンマ線)を、 $^{123}\text{I}$ は $\gamma$ 線のみを放出するという違いがあります。 $\beta$ 線は標的の細胞を破壊する力がありますが、 $\gamma$ 線にはなく、 $\gamma$ カメラで撮影することにより放射線の分布を視覚的にとらえることが出来ます。よって、 $^{123}\text{I}$ を内服しても、甲状腺細胞の破壊は起こらず、放射線の集まった部分を画像として得ることが出来ます。

放射性ヨードのRI検査は、主にバセドウ病と無痛性甲状腺炎とを鑑別するために行われます。どちらも血中の甲状腺ホルモンが高値になり、似たような機能亢進症の症状が現れます。但しホルモンが過剰になるメカニズムは全く異なります。そのため、放射性ヨード摂取率(どのくらい放射線が集まったか)をみるとバセドウ病の人は30~80%と高値になるのに対して、無痛性甲状腺炎の人は10%以下になります。

また、機能性結節があるかどうか、先天性甲状腺機能低下症の評価、異所性甲状腺腫の診断、甲状腺癌の放射線治療の評価にも使用されます。

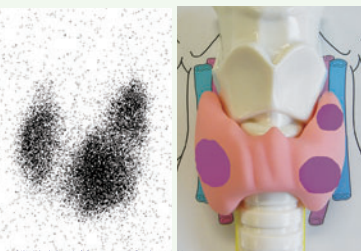
この検査が正確に行われるためには、検査の1週間前か



バセドウ病のRI検査画像



放射性ヨードカプセル



機能性結節のRI検査画像(写真の紫色の部分が結節)

## 甲状腺疾患と治療 第8回

### 悪性腫瘍に対する放射性ヨード治療

伊藤病院 外科医長 渋谷洋

甲状腺癌に対する入院治療の一つに、放射性ヨード治療(内用療法ともいう)があります。

甲状腺は甲状腺ホルモンと呼ばれる、身体の新陳代謝を高める物質を産生する臓器です。甲状腺ホルモンの原料は無機ヨード(ヨウ素とも言う)です。無機ヨードは甲状腺濾胞(ろほう)細胞に取り込まれ、甲状腺ホルモン(T3、T4)が合成されます。甲状腺ホルモンは甲状腺内に蓄えられ必要に応じて血中に分泌され、体の各組織において作用します。

甲状腺濾胞細胞から発生する甲状腺乳頭癌や甲状腺濾胞癌は正常濾胞細胞と同様に、無機ヨードを取り込む力が残っている場合があります。その性質を利用し、転移病巣や局所再発病巣に放射性ヨード(131-I)を取り込ませ、 $\beta$ 線という放射線を癌細胞の内側から照射し、癌細胞そのものを消滅させるのがこの治療の原理です。

効率よく治療を行うためには、より多くの放射性ヨードを病巣に取り込ませることが肝要になるため、正常な甲状腺組織が極力ない状態(原則的には甲状腺全摘後)の患者様が適応となります。治療の4週間前より内服薬をチラーチンS(T4製剤)から代謝の早いチロナミン(T3製剤)に変更し、2週間内服後中止します。T4製剤は代謝が遅く、内服中止後もその効果が残る可能性があります。そこで代謝の早いT3製剤に変更しておくことで十分甲状腺ホルモンが枯渇した状態に体を持って行きます。T3製剤中止後からヨード制限を1~2週間行います。この段階では体は、甲状腺ホルモンが枯渇し、その原料のヨードもない状態になっているため、放射性ヨードの消化管からの吸収、また血中から腫瘍への取り込み効率が良くなっています。治療自体は放射性ヨードカプセルを服用した時点で終了です。48時間後に全身シンチグラムを撮影することで、治療だけでなく転移病巣や再発病巣の拡がりも診断できます。内服した放射性ヨードは殆どが尿と便から排泄されます。治療後は患者さんの体内に残っている放射能が厚生労働省の指針の通りまで低下している事を確認できれば退院出来ます。

痛みを伴わない、体への負担が少ない治療方法です。しかし、チラーチンSを休業することによる甲状腺機能低下症の諸症状(全身倦怠、眠気、冷えなど)が治療の前後2週間ずつ位に渡って現れることがあります。また、全ての甲状腺癌の患者さんに効果があるわけではない事もご理解して頂かなければなりません。

らヨードを多く含む昆布やわかめなどを中止していただく必要があります。また妊娠中、授乳中の方には検査の影響を考え制限がありますので、該当する方は申し出てください。



脱水症とは体内の水分が不足している状態です。摂取する水分よりも失う水分が多い場合に起こります。嘔吐、下痢、暑さなどによる発汗、水分の摂取不足が脱水の原因となります。夏場は脱水を起こしやすい季節です。高齢者（のどの渇きを感じる脳の中樞（渇中枢）が上手く働かず自分が脱水状態であることに気づかない）や小児（体内で入れ替わる水分量が多い、体の水分量の調節力が未熟である等）は脱水になりやすいです。また、当院には甲状腺の病気の方が多く受診されますが、甲状腺ホルモンが高い場合には汗をかきやすく脱水になりやすい状態です。

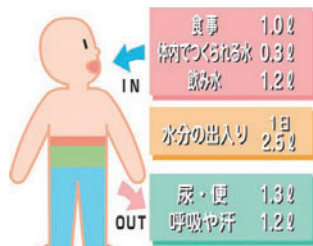
脱水状態になると渇中枢が刺激され、水分を摂取するという行動が起きます。この時に適切な水分摂取ができないと、脱水状態が更に悪化します。

脱水の程度が軽度の場合は、のどが渇く、汗が少なくなる、尿の量が減るなどの症状がでます。脱水が進むと脱力感、倦怠感、頭痛、吐き気、めまいなどが起こり、重度の場合は意識状態が悪くなることもあります。

脱水症は治療より予防が大切です。成人男子が比較的安静にしていたときの水の出入りは図のとおりとされています。運動、発熱、暑さは発汗量が通常より多くなるので、それに見合う水分補給が必要になります。

のどの渇きは既に脱水がはじまっている証拠であり、渇きを感じる前に水分を摂取することが大切です。水分が不足しやすい就寝前、起床時、スポーツの前後・途中、入浴の前後、飲酒中やその後などの水分補給は重要です。冷えすぎた水分を一度に大量に摂取するのではなく、1回200ml以下ぐらいで温度は10度前後を目安にする

と良いです。  
軽い脱水は水をたくさん飲むだけで解消されます。汗からは水と同時に塩分（電解質の中のナトリウム）も失われるので、運動などで非常に汗をかく場合には塩分の補給も必要です。スポーツドリンクは汗などで失われる電解質も



水分の摂取と排泄

(Exercise Physiology 第4版, 1996, 53-54より引用、改変) (出展: 環境省熱中症環境保険マニュアル (2009) より)

## 第一回サーベイランス（外部審査）を終えて

今回は、2011年2月に行われた第一回サーベイランス（外部審査）定期審査についてご報告させていただきます。



当院は昨年5月にISO9001品質マネジメントシステムの認証を取得しました。この認証自体は3年ごとの更新となりますが、その間も業務改善のしくみが効果的に機能し、業務が決められたとおりに遂行されているかなど、マネジメントシステムが形骸化していないかについて毎年サーベイランス審査（外部審査）が行われ、チェックを受けることになっています。当然ながら、ここで大きな問題が指摘されればISO9001の認証保留ということにもなりかねません。

今回当院で行われたサーベイランス審査では、患者様一人一人の治療計画がどのように立てられているか、各部署の目標管理がどう進められているか、インシデント・アクシデントや患者様からのご意見にどう対応しているか、具体的な事例を取り上げながら、2日間にわたる審査が行われました。

審査の結果、当院の理念「甲状腺を病む方々のために」、品質マネジメントシステムが安全に運用されていることが確認され、審査員からも高い評価をいただきました。



今後もISOを通してより安全で質の高い医療提供を目指し、様々な仕組みの改善や業務の見直しを行い、患者様の満足度向上につなげて行きたいと考えております。

含まれているので、脱水の予防や軽い脱水の治療に使用できません。アルコールは尿の量を増やし体内の水分を排泄してしまうため、ビールなどで水分補給をするのは避けましょう。糖尿病、心臓や腎臓に病気のある方は摂取する水分の量や種類に注意が必要な事があるので、かかりつけの先生に聞いておくことが望ましいです。

参考: 厚生労働省: 健康のため水を飲もう推進運動、日本体育協会: 熱中症を防ごう、環境省熱中症環境保険マニュアル (2009)

伊藤病院 薬剤室 増田恵美

相互作用とは、医薬品を2種類以上併用した時に、それぞれが影響しあい医薬品の効果が増強したり、減弱したり、副作用が出現したりすることをいいます。

最近では、医薬品同士だけでなく、医薬品と食品(健康食品を含む)との併用でも相互作用が起こる可能性があることもわかってきました。

以下はその医薬品と食品・健康食品との相互作用の代表例です。

### ◆セントジョーンズワート

セントジョーンズワート(SJW)はセイヨウオトギリソウとも呼ばれます。

SJWの民間薬としての利用の歴史は古く、古代ギリシア時代にまでさかのぼり、切り傷や火傷の治療における消毒薬や抗炎症剤として重宝されていました。SJWの名前の由来はキリスト教の民話から来ているといわれています。こすると赤い色素が出てきますが、この花から出る赤い色は洗礼者ヨハネ(John the Baptist)が斬首されたときに流れ出た血の象徴といわれています。

1980年代になると、うつ病の治療薬としてヨーロッパで注目され始めました。ドイツでは不安、抑うつ、不眠に対して認可されています。日本では健康食品として販売されています。

このSJWと医薬品を併用すると、医薬品の排泄や分解が促進されるため、医薬品の効果がでにくくなる場合があります。現在、50品目以上の医薬品でSJWとの相互作用が確認されています。



#### SJWにより血中濃度が低下する代表的な医薬品

- ・気管支拡張剤薬のテオフィリン製剤(テオドール®など)
- ・抗てんかん薬(テグレトール®など)
- ・経口抗凝固薬(ワーファリン®)
- ・強心薬(ジゴシン®, ラニラピッド®など)
- ・抗不整脈薬(リスモダン®など)

### ちょっと詳しいはなし

SJWは小腸粘膜上皮にある薬物を排泄させるP糖タンパクと薬物代謝酵素であるCYP3A4の発現量を増加、さらに肝臓のCYP3A4も増加させます。そのため、CYP3A4で代謝される医薬品の血中濃度を低下させ、治療効果を減弱する可能性があります。これらの医薬品とSJWを長期服用すると、それぞれの医薬品成分の血中濃度が25～50%前後低下し、治療効果を減少させることが報告されています。

### ◆グレープフルーツジュース

高血圧のお薬を服用している方で“グレープフルーツジュースと一緒に飲まないで下さい。”という説明を受けたり、見たことはありませんか？

これはグレープフルーツジュースが医薬品の分解を邪魔するためです。医薬品が分解されないまま体の中に残ってしまい、結果として医薬品の効果が強く出すぎてしまう可能性があるからです。

相互作用が確認されている代表的な医薬品は以下の通りです。

#### グレープフルーツジュースにより血中濃度が増加する代表的な医薬品

- ・カルシウム拮抗薬(アダラート®, カルブロック®, ヘルベッサ®、ワソラン®など)
- ・高脂血症治療薬(リピトール®など)
- ・催眠鎮静薬(ハルシオン®)

### ちょっと詳しいはなし

グレープフルーツジュースの苦味の成分であるフラボノイド化合物が小腸の上皮細胞に存在する薬物代謝酵素であるCYP3A4を阻害します。そのため、CYP3A4で代謝される医薬品の血中濃度が上昇し、治療効果が増強する可能性があります。この血中濃度の増加率は医薬品成分により異なりますが、50%程度の増加から、最大700%にまで及ぶものもあります。また、グレープフルーツジュースと医薬品の相互作用は長く持続するものもあります。長いものでは、3～7日間持続すると報告されているものもあります。

### ◆ビタミンK

血液が固まるには「凝固因子」というものがないと固まりません。

肝臓の中でこの凝固因子の合成の手助けをしているのがビタミンKです。

抗凝固剤のワルファリン(ワーファリン®)はこのビタミンKの作用を阻害することで、血液を固まりにくくし、血栓ができるのを予防します。したがって、ビタミンKを過剰に摂取すると、ワルファリンの作用が減弱されてしまい、抗凝固効果を発揮できません。

そのため、ワルファリンを服用中はビタミンKのサプリメントやビタミンKを多く含む青汁・クロレラなどの健康食品を摂ってはいけません。また食品の納豆もビタミンKを多く含みます。

以上のように医薬品との相互作用が判明している食品・健康食品はほんの一部です。

ほとんどの健康食品は薬との相互作用がわかっていないというのが現状です。

## 六本木ヒルズと毛利庭園

六本木ヒルズの緑のシンボルとして造られた毛利庭園は、四季折々に変化する木々や植物の表情を感じることができる回遊式の日本庭園となっています。



この庭園にある池には、なんと宇宙から持ち帰った「宇宙メダカ」の子孫が放流されているとのこと。宇宙メダカは、1994年に東京大学の井尻憲一博士の提案によって、スペースシャトル「コロンビア」内で向井千秋さんらが行なった実験で、脊椎動物として初めて宇宙で誕生したメダカです。都会のど真ん中に宇宙メダカが・・・是非探してみたいものです。

(手術室看護師 玉川)

## 編集後記

Voice夏号はいかがでしたか？

私が入職した頃に「Voice」が創刊されて、もう8年。そのうち5~6年、広報誌委員としてお手伝いさせて頂きました。過去の記事を振り返って読むと、とても懐かしく感じます。

いろいろな場所に取材に行き記事を書いたり、原稿依頼をしたり、普段行っている臨床検査の業務とは全く違うことを体験出来て良い勉強になりました。広報誌委員としての役割を一旦終えますが、これからも何らかの形で「Voice」を応援して行きたいと思います。

次号からもお楽しみに♪

(丸山)

## 甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



「よくわかる 甲状腺の病気」  
著者：伊藤公一  
定価：1,360円 (税込)  
発行：主婦と生活社



「専門医が答える Q&A バセドウ病」  
著者：伊藤公一  
定価：1,470円 (税込)  
発行：主婦の友社



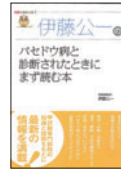
「甲状腺の病気」  
速やかな回復のための最新知識  
監修：伊藤公一  
定価：1,365円 (税込)  
発行：法研



「甲状腺の病気の治し方」  
監修：伊藤公一  
定価：1,260円 (税込)  
発行：講談社



「甲状腺の病気 バセドウ病・橋本病・甲状腺腫瘍ほか」  
監修：伊藤公一  
定価：1,470円 (税込)  
発行：主婦の友社



伊藤公一のバセドウ病と診断されたときにまず読む本  
著者：伊藤公一  
定価：1,470円 (税込)  
発行：主婦の友社

新刊

発行 2011年6月1日発行 第34号 伊藤病院広報誌委員会

**ITO HOSPITAL**  
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6  
TEL : 03-3402-7411  
FAX : 03-3402-7415  
URL : <http://www.ito-hospital.jp>